

## 資料2

# 有明の丘研修・ ホームページの リニューアル

1. 有明の丘研修 各コースのリニューアル
2. ホームページリニューアルの検討状況

## (1) 防災基礎コースのリニューアル

### ● ワーキンググループ設置の目的

- ・ 災害対応の基本的な知識を学ぶ「防災基礎コース」は、より多くの人に受講してもらえるためのリニューアルを目指す(年間の受講定員(R7:3,200人)を拡大することを目指す)。
- ・ 受講者が、効果的に学べるように、学習内容のコンパクト化、必修/選択単元の整理など、企画検討会での方向性を実際に新単元に反映する。

### ● ワーキンググループ委員

牛山 素行 (静岡大学) ※防災基礎コースコーディネーター  
奈良 由美子 (放送大学)  
佐藤 和彦 (大正大学)

### ● 主な検討事項とスケジュール(案)

WG第1回(5/20)	・これまでの取組みと本年度の方針の報告・合意 ・「ハザード」、「法律」、「各コース概要」の内容・時間の協議	➡ 企画検討会(第1回)報告
WG第2回(10月予定)	・「ハザード」の講義スライド確認	➡ 企画検討会(第3回)報告
WG第3回(2月予定)	・「法律」、「各コース概要」の講義スライド確認 ・次年度の方針の検討	➡ 企画検討会(第4回)報告

- 令和6年度に防災基礎の受講負担軽減と学習内容の再整理について議論した。
- 「法律」「ハザード」「各コース概要」に、短時間で学習できる概要単元を設ける案が提示された。

防災基礎の見直し素案 (令和6年度 第5回企画検討会より抜粋)

学習項目で並べた防災基礎

学習項目	主な内容	時間(分)	選択/必修
①防災活動全体の基礎知識	・ 概論	66分	必修
	・ 防災行政概要	19分	必修
②法律	・ 災害法体系 ・ 災害対策基本法 ・ 災害救助法	29分	必修
③計画	・ 防災計画 ・ 受援体制・受援計画	31分	必修
④ハザード	・ 風水害	67分	必修
	・ 脆弱性と被害	84分	必修
	・ 地震・津波災害	66分	選択
④ハザード (大規模地震対策)	・ 首都直下地震 ・ 南海トラフ地震 ・ 日本海溝・千島海溝型地震 ・ 東日本大震災における復興	114分	選択
	⑥コース概要(災害への備え)	16分	必修
	⑥コース概要(警報避難)	64分	必修
⑥コース概要(応急・資源)	・ 救援物資の調達・輸送 ・ 災害廃棄物処理 ・ 応急対策職員派遣制度	54分	必修
⑥コース概要(被災者支援)	・ 避難行動要支援者の避難支援 ・ 保健・医療・福祉活動 ・ 避難所の開設・運営 ・ 被害認定調査・罹災証明書 ・ 被災者生活再建支援制度 ・ 多様な主体による避難所運営 ・ 男女共同参画 ・ 災害ケースマネジメント ・ 災害弔慰金・災害援護資金 ・ 救助・捜索活動	139分	必修
⑥コース概要(復旧・復興)	・ 仮設住宅の供与 ・ 復旧・復興 ・ インフラ復旧	53分	必修
その他 (市町村対象外業務)	・ 国の初動対応 ・ 内閣府における防災人材育成	14分	必修

見直し素案

学習項目	主な内容	時間(分)	選択/必修
①防災活動全体の基礎知識	・ 概論(コース全体像/災害と防災/我が国の自然災害特性/災害事例)	66分	必修
	・ 防災行政概要	19分	必修
②法律	・ 災害対策基本法 ・ 災害救助法 ・ 生活再建支援法	15分	必修
	・ 災害法体系	15分	必修
③計画	・ 防災計画 ・ 受援体制・受援計画	31分	必修
④ハザード	・ 気象災害	15分	必修
	・ 地殻災害(地震・火山)	15分	必修
	・ 風水害	67分	選択
	・ 脆弱性と被害	84分	選択
	・ 地震・津波災害	66分	選択
	・ 火山災害	80分	選択
	・ 大規模地震対策	15分	必修
⑥コース概要(災害への備え)	・ コース概要(災害への備え) ・ コース概要(R6の内容)	15分 16分	必修 選択
⑥コース概要(警報避難)	・ コース概要(警報避難) ・ コース概要(R6の内容)	15分 64分	必修 選択
	⑥コース概要(応急・資源)	・ コース概要(応急活動・資源管理) ・ コース概要(R6の内容)	15分 54分
⑥コース概要(被災者支援)	・ コース概要(被災者支援) ・ コース概要(R6の内容)	15分 139分	必修 選択
⑥コース概要(復旧・復興)	・ コース概要(復旧・復興) ・ コース概要(R6の内容)	15分 53分	必修 選択
	その他(市町村対象外業務)	・ 国の初動対応 ・ 内閣府における防災人材育成	14分

15分×2  
=30分

15分×3  
=45分

15分×5  
=75分

↓詳細は各コースで学習

必修：621分  
選択：260分

必修：280分 (-341分)  
選択：751分

## ● ワーキンググループについて

各コースに2種類のワーキンググループを設置し、各コースの取組みについて協議する。

コーディネーターWG (CWG)：本年度の研修実施に向けたオンデマンド講義、対面演習の見直し

リニューアルWG (RWG)：今後のコースリニューアルに向けた方針、課題、進め方等を検討

## ● ワーキンググループ委員

災害への備えコース：丸谷 浩明(東北大学)

警報避難コース：井ノ口 宗成(立命館大学)

応急活動・資源管理コース：宇田川 真之(防災科学技術研究所)

被災者支援コース：田村 圭子(新潟大学)

復旧・復興コース：加藤 孝明(東京大学)

## ● 主な検討事項とスケジュール(案)

WG第1回(5-6月) 各コース個別協議	CWG:第2期に向けたオンデマンド講義、対面演習の見直し RWG:今後のリニューアルの方針・課題の協議	➡ 企画検討会(第1回) 報告
WG第2回(7/10) 全体協議	RWG:本年度の取組み(リニューアル、OP交流会、防災基礎)	➡ 企画検討会(第2回) 報告
WG第3回(11-12月予定) 各コース個別協議	CWG:第3期に向けたオンデマンド講義、対面演習の見直し	➡ 企画検討会(第4回) 報告

## ● ワーキンググループの実施状況

	災害への備え	警報避難	応急活動・ 資源管理	被災者支援	復旧・復興
コーディネーターWG①	5/23	6/5	5/26	7/17	5/29
リニューアルWG①	5/23	6/5	5/26	7/17	5/29
リニューアルWG②			7/10		

コース		協議概要
② 災害への備え 丸谷CD	変更点	<p><b>オンデマンド講義の変更</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コースの構成に大きな変更はないが、一部の単元で登壇講師を変更した。15分区切りの単元構成が未反映の単元で反映を進めた。</li> </ul> <p><b>対面演習の変更</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>演習は昨年度と同様の構成とした。サブコーディネーターに紅谷先生(兵庫県立大)、佐藤翔輔先生(東北大学)を配置して実施した。</li> </ul>
	今後	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度までで一定のリニューアルを実施済み。</li> <li>法改正や防災庁設置に伴う内閣府の体制変化など、最新動向のコースへの反映を進める。</li> </ul>
③ 警報避難 井ノ口CD	変更点	<p><b>オンデマンド講義の変更</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コースの構成に大きな変更はないが、一部の単元で登壇講師を変更した。</li> </ul> <p><b>対面演習の変更</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>演習は昨年度とほぼ同様の構成としたが、「ワークシート」を使って演習を進行できるよう内容に見直しを図った。</li> </ul>
	今後	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度までで一定のリニューアルを実施済み。</li> </ul>
④ 応急活動・資源管理 宇田川CD	変更点	<p><b>オンデマンド講義の変更</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「救援物資」に職位別の概要的な講義を追加、物資の演習を、本年度から開始した新物資システム(B-PLo)の内容に更新した。</li> </ul> <p><b>対面演習の変更</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大きな構成は、昨年度と同様。「救援物資机上演習」を物資の机上演習に加えて新物資システムの情報処理の操作説明を追加した。</li> </ul>
	今後	<ul style="list-style-type: none"> <li>「活動拠点・環境の確保」にコーディネーターが職位別の内容を説明する講義を追加する。</li> </ul>
⑤ 被災者支援 田村CD	変更点	<ul style="list-style-type: none"> <li>「避難所のライフサイクル」、「生活再建支援業務」で内容の見直しを図った。</li> </ul>
	今後	<ul style="list-style-type: none"> <li>演習は昨年度と同様の構成とした。</li> </ul>
⑥ 復旧・復興 加藤CD	変更点	<p><b>オンデマンド講義の変更</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>単元「仮設住宅(生活復興Ⅰ)」は地震から水害事例に変更し、新たな取組みとして「専門家の解説」の時間を追加した。</li> </ul> <p><b>対面演習の変更</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>演習は昨年度と同様とした。</li> </ul>
	今後	<ul style="list-style-type: none"> <li>各単元に「地域特性別の事例」を拡充する。それに加えて「専門家の解説」で事例別の課題やポイントを学べるようにする。</li> <li>まずは単元「仮設住宅(生活復興Ⅰ)」を第2期で試行した。</li> <li>次年度に向けた各単元の事例と専門家の解説を講義いただく講師の候補者について協議する。</li> </ul>

## ● ワーキンググループについて

各コースに2種類のワーキンググループを設置し、各コースの取組みについて協議する。

コーディネーターWG(CWG)：本年度の研修実施に向けたオンデマンド講義、対面演習の見直し

リニューアルWG(RWG)：今後のコースリニューアルに向けた方向性について意見交換

## ● ワーキンググループ委員

指揮統制コース：林 春男（京都大学）

対策立案コース：林 春男（京都大学）

人材育成コース：黒田 洋司（消防防災科学センター）

総合監理コース：岩田 孝仁（静岡大学）

## ● 主な検討事項とスケジュール(案)

第1回(5-6月) 各コース個別協議	CWG:第2期に向けたオンデマンド講義、対面演習の見直し RWG:今後リニューアルに向けた方向性についての意見交換	➡ 企画検討会(第1回) 報告
第2回(11-12月予定) 各コース個別協議	CWG:第3期に向けたオンデマンド講義、対面演習の見直し	➡ 企画検討会(第4回) 報告

## ● ワーキンググループの実施状況

	指揮統制	対策立案	人材育成	総合監理
コーディネーターWG	6/2	6/2	5/22	5/22
リニューアルWG	6/11	6/11	5/22	5/22

コース		協議概要
<b>⑦</b> 指揮統制 林CD	変更点	<b>オンデマンド講義の変更</b> ・ 対面演習で講義していた内容を再構成し、単元「指揮統制者の役割」として新規に追加した。 <b>対面演習の変更</b> ・ 演習の内容は昨年度と同様とする。
	今後の意見	・ 防災庁の設置などにより防災に関する取組みや体制が変化する機会に、他のコースとの連携も踏まえて、研修全体を見直すべきではないか。
<b>⑧</b> 対策立案 林CD	変更点	<b>オンデマンド講義の変更</b> ・ 単元構成に変更なし。 <b>対面演習の変更</b> ・ 対面演習で新たに「効果的な災害対応計画・マニュアルの作成方法」を実施した。
	今後	※指揮統制コースと同様
<b>⑨</b> 人材育成 黒田CD	変更点	<b>オンデマンド講義の変更</b> ・ 単元構成に変更なし。 <b>対面演習の変更</b> ・ 演習の内容は昨年度と同様とする。
	今後の意見	・ 当初は「訓練の企画・実施」について学ぶコースとして設計。後から「組織の人材育成プログラム策定」の内容を入れたことでコースのコンセプトが曖昧になっているため、コンセプトの整理と強化が必要となる。 ・ コーディネーターが今後の方向性について整理する。
<b>⑩</b> 総合監理 岩田CD	変更点	<b>オンデマンド講義の変更</b> ・ 単元「大規模災害の検証と対応」は講師異動のため、新たな講師候補を内閣府と協議して決定する。 <b>対面演習の変更</b> ・ 演習の内容は昨年度と同様とする。
	今後の意見	・ 当初は危機管理監や危機管理部局の部長・課長を想定してコースを設計する。コースの対象者を特定し、対象者に来てもらえるような周知・広報が必要 ・ 新しい事例を入れる場合、候補者が探しにくい。講師候補をコーディネーター全体で調整できるような仕組みが必要 ・ コーディネーターの後継候補が課題。コーディネーターの交代も視野に、実務を経験された行政出身者にオンデマンド講義及び対面演習に参加いただく。

# 報告 (4) 今後の進め方

R7.10.1  
第2回「防災スペシャリスト養成」  
企画検討会資料

■ 事務局で作業    □ 講師に依頼  
■ 試行    ■ 本公開・実施

コース		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	5月 (第1期)	9月 (第2期)		
企画検討会				2 10/1 PM		3 12/12 AM			4 3/6 PM				
防災基礎WG	法律		たたき台の作成、所管室相談			講義スライド作成(所管室に依頼)		WG	講義の録画・編集 内容(案)確認		試行	修正 8/31 〆切	本公開
	ハザード	講義スライド作成	WG		スライドの修正	録画・編集	修正 11/28 〆切	→12/15 開始 有明の丘(第3期)で試行		修正 4/27 〆切	→5月中旬 開始 本公開		
	コース概要	災害への備え 警報避難 応急・資源	講義スライド作成	有明の丘(第2期)で試行			修正 11/28 〆切	有明の丘(第3期)で試行		修正 4/27 〆切	本公開		
		被災者支援		講義スライド作成		録画・編集 11/28 〆切	有明の丘(第3期)で試行		修正 4/27 〆切	本公開			
		復旧・復興					次年度のリニューアル案検討		講義スライド作成	試行	修正 8/31 〆切	→9月頃 開始 本公開	
災害対策	災害への備え 警報避難 応急・資源 被災者支援	リニューアル検討	有明の丘(第2期)で試行			WG	修正 12/15 〆切	→1/6 順次開始 有明の丘(第3期)で試行		修正 8/31 〆切	本公開		
	復旧・復興	リニューアル検討	リニューアル案作成	講義スライド作成 (一部)	録画・編集	WG	修正 12/15 〆切	有明の丘(第3期)で一部を試行		講義スライド作成 (その他の講義)	本公開		
組織運営	指揮統制 対策立案 人材育成 総合監理		次年度に向けたリニューアル検討							講義スライド作成	試行		
(共通)有明の実施に向けた個別調整等 (コースコーディネータWG)		座学・演習の修正	協議	有明の丘(第2期)で実施		WG	修正 12/15 〆切	有明の丘(第3期)で実施					
テストWG		リニューアルに合わせ適宜開催											

R6年度に検討した改善方針をベースに具体的なリニューアル作業を進めている。

## R6年度に検討した検討ポイントの概略

サイト構成	利用者が必要な情報に簡単スムーズにアクセスできるサイト構成、導線整備が必要
デザイン/共通レイアウト	サイト目的やポイントが明確かつ簡潔に伝わるタイトル、文章、デザイン表現への改定が必要
機能/パフォーマンス	現サイトの表示速度は維持しつつ、様々な機能要件やセキュリティ要件への対応が必要

今年度では改修が必要な3点を中心に、サイト訪問者の利用性向上を目的としたリニューアルを実施する

### <サイト構成>

情報の整理をおこない全体構成図および各ページの設計図の刷新をすることで利便性を向上させ、利用者が適切に情報を取得可能なサイトとする

### <デザイン/共通レイアウト>

- ▶ サイト上部には事業イメージなどを繰り返し表示し、利用者が何のサイトなのかを一目で判断可能なデザインとする
- ▶ 各研修の概要や開催日程など、サイト訪問者が求める情報にすぐアクセス可能な導線を作り、利用者の離脱を防ぐ

### <機能/パフォーマンス>

様々な機能要件やセキュリティ要件に対応し、適切なサイト更新をおこなう

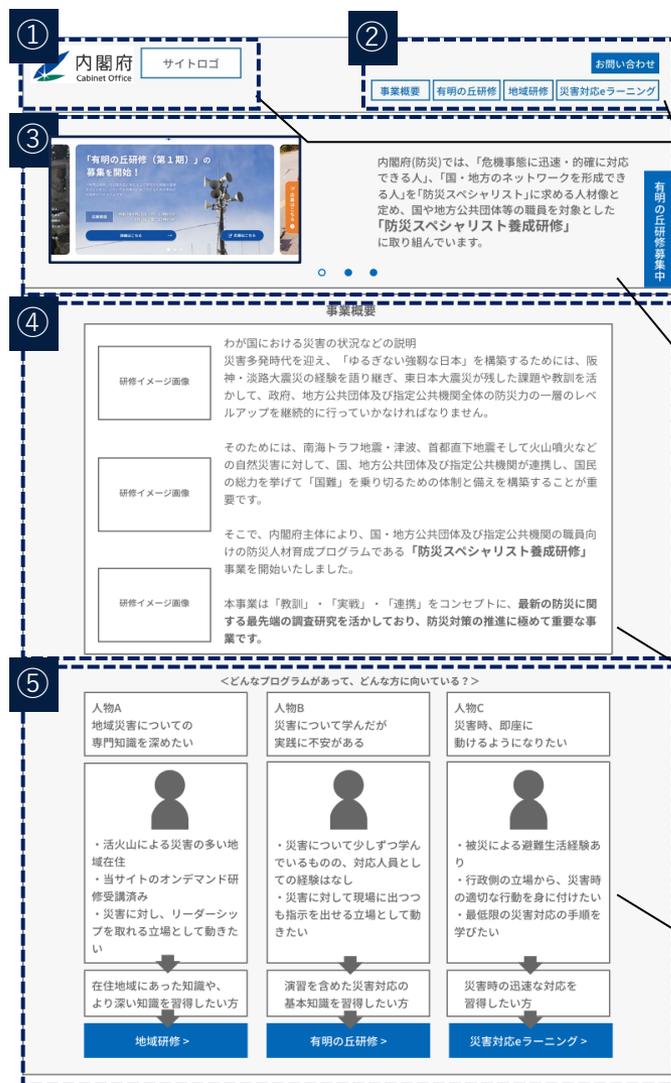
## リニューアル作業スケジュール

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
サイト構成		ワイヤーフレーム作成～FIX								
デザイン/共通レイアウト	要件定義	サイトデザイン・ロゴ作成～FIX					テスト公開	本番サイト運用開始～(12月下旬予定)		
機能/パフォーマンス					環境構築					
企画検討会					■第2回 10/1		■第3回 12/12			■第4回 3/6
WG	■第1回WG 6/17開催	■第2回WG 8/4開催	■第3回WG 9月末開催予定							

## リニューアル作業の進捗状況

- ・全体構成やページのデザインを設計中
- ・設計内容については、WGを通じ、委員からアドバイスを頂きながら進めている
- ・第3期の募集終了後、12月下旬から運用開始を予定しており、事前(11月)にテスト公開し、委員からご意見を頂く予定。

改善方針をベースとして、ページごとにデザインを検討を進めている。



## ポイント

- ① ロゴの設置**  
トップページに母体が内閣府であることを強調し、サイトへの信頼感を醸成する。養成研修用のロゴも新設。
- ② グローバルナビゲーションの見直し**  
利用頻度が高いコンテンツをグローバルナビ(サイト全ページに共通して表示されるナビゲーションメニュー)に設定することで、目的のコンテンツへの最短到達を可能にする。
- ③ バナーの設置**  
バナーを設置し、「何を目的としたサイトか」を新規サイト訪問者にもわかりやすく伝える。
- ④ 事業概要を記述**  
本事業の概要を掲載し、コンテンツへの興味を引かせる。
- ⑤ 目的・経歴別に研修を振り分け提案**  
自身に合致する研修が何なのかを迷わせないためにペルソナ像を記載。さまざまな属性のサイト訪問者が自身の目的や経歴に近いペルソナから該当研修へスムーズに移行できるよう誘導する。  
また、研修到達目標の表示することで、研修により習得できる知識を表示することで次に誘導される推奨研修の概要を把握可能にする。

(参考)トップページ(上部)における検討内容

改善方針をベースとして、ページごとにデザインを検討を進めている。

研修のご案内



有明の丘研修

災害対応にあたる上で不可欠な知識や習得すべきスキル、ノウハウを効果的に身につけるための体系的な研修カリキュラムです。

防災基礎コース

対象：防災や災害対応の基礎を学びたい方  
オンラインによるオンデマンド動画を視聴する形式での受講を実施しています。

災害対策・組織運営コース

対象：「防災基礎コース」受講済みで、防災や災害対応について専門性の強い内容を学びたい方  
オンデマンド形式による受講後、対面による演習が行われます。

詳細はこちら>

研修イメージ画像

地域研修

防災の基礎能力を地域で育成し、地域における災害対応能力の一層の向上、及び地域による自立した防災人材の育成を推進を目的とし、地域が主体となり、地域の実情やニーズに応じた内容を盛り込んだ研修を地域単位で実施しております。

詳細はこちら>

お知らせ

すべて
更新情報
事務局からのお知らせ
募集情報

2025-04-01	募集	令和7年度 有明の丘研修 防災基礎コース（シーズン1）の募… >
2024-12-24	募集	令和7年度「防災スペシャリスト養成」地域研修の募集について >
2024-12-17	募集	令和6年度有明の丘研修 第2期 の募集は、締め切りました。 >
2024-12-10	更新	「〇〇〇〇」にコンテンツ「〇〇〇〇〇〇」を追加 >
2024-11-21	事務局	一昨日より発生していた当サイトのサーバー障害ですが現在復… >

もっとみる>

ポイント

- ①

現在実施している研修を記載  
トップページにも「研修のご案内」を配置。  
イメージ画像や研修概要を記載し、受講興味を高め、  
「研修のご案内ページ」へと誘導する。
- ②

「研修のご案内ページ」への誘導  
研修に興味を持った方がスムーズに詳細確認ページへ進めるように  
「詳細はこちら」ボタンを設置。  
「研修のご案内」ページへのスムーズな遷移を可能にする。
- ③

「お知らせ」欄をトップページに設置  
サイト利用者への伝達事項やページ更新内容を網羅的に閲覧で  
きるよう、「お知らせ」機能をトップページ下部に設置。  
また、タブの切り替え機能を実装し、お知らせにタブ機能を設置し、  
欲しい情報へアクセスしやすい設計とする。

(参考)トップページ(下部)における検討内容